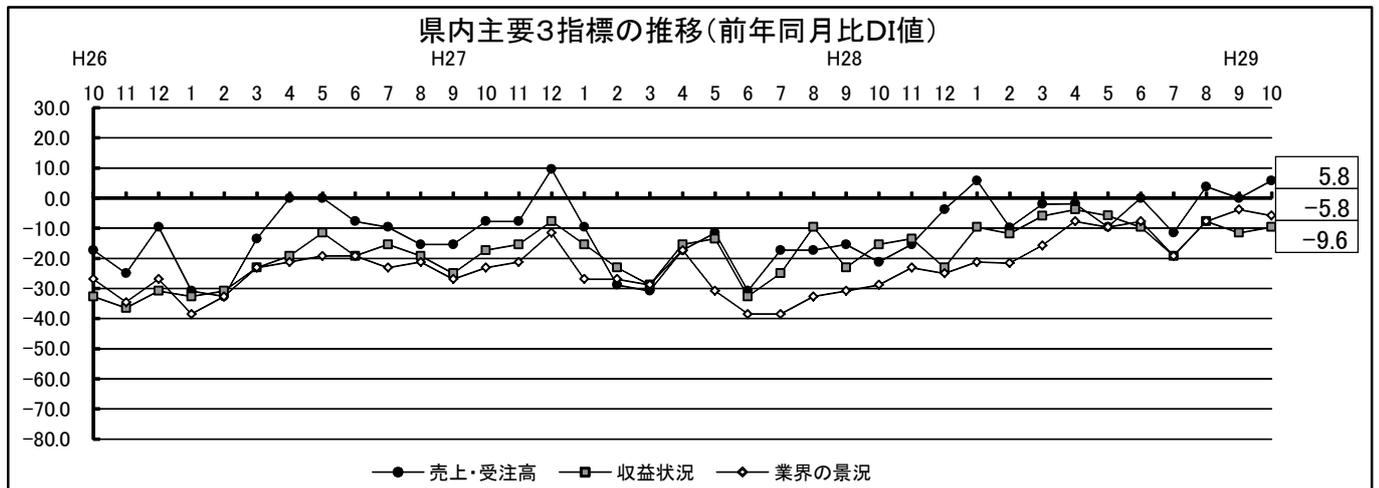


中小企業団体情報連絡員報告結果(平成29年10月分)

栃木県中小企業団体中央会

この報告結果は、栃木県中央会において設置している中小企業団体情報連絡員（中小企業組合（協同組合、商工組合等）の役職員52名に委嘱）による、所属組合の組合員企業の全体的な景況です。

- 10月の前年同月比DI値は、前月の前年同月比DI値と比べて、9指標中「売上高」「在庫数量」「収益状況」「設備操業度」が上昇し、「取引条件」「資金繰り」「雇用人員」「業界の景況」が下降した。
- 主要3指標は、「売上高」が前月より5.8ポイント上昇の5.8ポイント、「収益状況」が1.9ポイント上昇の-9.6ポイント、「業界の景況」が2.0ポイント下降の-5.8ポイントであった。
- 製造業においては前月比で多くの指標の数値は横ばいもしくは回復傾向を示しているが、非製造業においては全体的に指標の数値悪化の傾向が強く、業種別では、小売業、サービス業における景況感の悪化が著しい。



主要3項目	県内		全国	
	DI値	前月比	DI値	前月比
売上・受注高	5.8	+5.8	-10.8	-1.1
収益状況	-9.6	+1.9	-17.8	-1.1
業界の景況	-5.8	-2.0	-17.0	0.0

売上・受注高

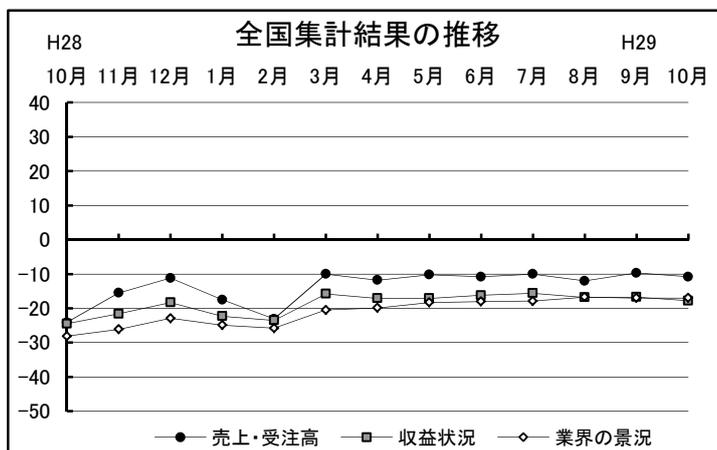
当月の県内売上・受注高DI値は、前月より5.8ポイント上昇の5.8ポイントとなった。全国においては、前月より1.1ポイント下降の-10.8ポイントとなった。

収益状況

当月の県内収益状況DI値は、前月より1.9ポイント上昇の-9.6ポイントとなった。全国においては、前月より1.1ポイント下降の-17.8ポイントとなった。

業界の景況

当月の県内業界の景況DI値は、前月より2.0ポイント下降の-5.8ポイントとなった。全国においては、前月と変わらず-17.0ポイントとなった。



-概 況-

10月の前年同月比DI値は、前月の前年同月比DI値と比べて、9指標中「売上」「在庫」「収益」「設備」の4指標が上昇し、「条件」「資金」「雇用」「景況」が低下した。主要3指標は、「売上」が前月より5.8ポイント上昇の5.8ポイント、「収益」が1.9ポイント下降の-9.6ポイント、「業界の景況」が前月より2.0ポイント下降の-5.8ポイントであった。製造業においては多くの指標は前月から横ばいもしくは回復傾向を示しているが、非製造業では全体的に指標の数値の悪化の傾向が強く、業種別に見ると、特に小売業・サービス業は厳しい事業経営を強いられている。

業種別の状況を見ると、図表4のとおり、「売上」は製造業で7業種中3業種が上昇し、非製造業で6業種中1業種が上昇、2業種が低下した。「収益」は製造業で2業種が上昇、1業種が低下し、非製造業で1業種が上昇、1業種が低下した。「景況」は製造業で2業種が上昇し、非製造業で2業種が低下した。

一部では、景況感に持ち直しが感じられるといった好感触な声もあるが、連続した大型台風の上陸や一連の不正検査問題、朝鮮半島情勢の緊迫化といった地政学リスク、トランプ政権の混乱や政策の行き詰まりなど、国内要因と国外要因の両方に注視しなければならない。これらのマイナス要因を抑え込むだけの景況感の回復、プラス材料が望まれる。

図表1～【業種別・指標別動向一覧表】

	売上	在庫	価格	条件	収益	資金	設備	雇用	景況
食料品製造	△	△	△	△	△	△	△	△	△
繊維・同製品	△	△	△	△	△	△	△	△	△
木材・木製品	×	△	△	△	△	△	△	×	△
印刷	△	△	△	△	△	△	△	△	△
窯業・土石	△	△	△	△	△	△	○	△	△
鉄鋼・金属	○	△	△	△	△	△	△	△	△
一般機器	△	△	△	△	△	△	△	△	△
卸売業	△	△	△	△	△	△	—	△	△
小売業	×	△	△	△	×	△	—	△	△
サービス業	△	—	△	△	△	△	—	△	△
建設業	△	—	△	△	△	△	—	△	△
運輸業	△	—	△	△	△	△	—	△	△
その他	△	—	○	△	△	△	—	○	△

図表2～【業種別・指標別DI値一覧表】

	売上	在庫	価格	条件	収益	資金	設備	雇用	景況
食料品製造	0.0	0.0	25.0	0.0	-25.0	-25.0	-25.0	0.0	0.0
繊維・同製品	0.0	25.0	-25.0	-25.0	-25.0	0.0	0.0	-25.0	-25.0
木材・木製品	-50.0	-25.0	-25.0	0.0	-25.0	-25.0	25.0	-50.0	-25.0
印刷	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
窯業・土石	25.0	-25.0	25.0	0.0	25.0	0.0	50.0	0.0	25.0
鉄鋼・金属	75.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0	0.0	0.0
一般機器	25.0	25.0	0.0	0.0	-25.0	0.0	-25.0	0.0	0.0
製造業	12.0	0.0	0.0	-4.0	-12.0	-8.0	8.0	-12.0	-4.0
卸売業	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		0.0	0.0
小売業	-42.9	0.0	0.0	-14.3	-42.9	-28.6		0.0	-28.6
サービス業	16.7		0.0	-16.7	0.0	0.0		33.3	-16.7
建設業	0.0		0.0	0.0	0.0	0.0		0.0	0.0
運輸業	25.0		0.0	0.0	25.0	0.0		0.0	25.0
その他	0.0		50.0	0.0	0.0	0.0		0.0	50.0
非製造業	0.0	0.0	3.7	-7.4	-7.4	-7.4	11.1	-7.4	
全体	5.8	0.0	1.9	-5.8	-9.6	-7.7	8.0	0.0	-5.8

	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	前月比
売上高	-21.2	-15.4	-3.8	5.8	-9.8	-2.0	-1.9	-9.6	0.0	-11.5	3.8	0.0	5.8	5.8
在庫数量	-28.6	-14.3	-22.9	-14.3	-23.5	-23.5	0.0	-8.6	-14.3	2.9	-2.9	-17.1	0.0	17.1
販売価格	1.9	1.9	0.0	3.8	3.9	5.9	1.9	5.8	3.8	3.8	1.9	1.9	1.9	0.0
取引条件	-1.9	-5.8	-3.8	-1.9	-2.0	-3.9	0.0	-1.9	0.0	-1.9	-1.9	-1.9	-5.8	-3.8
収益状況	-15.4	-13.5	-23.1	-9.6	-11.8	-5.9	-3.8	-5.8	-9.6	-19.2	-7.7	-11.5	-9.6	1.9
資金繰り	-9.6	-5.8	-5.8	-3.8	-5.9	-5.9	1.9	0.0	-3.8	-7.7	-5.8	-5.8	-7.7	-1.9
設備操業度	-8.0	-4.0	-8.0	-8.0	0.0	12.5	-4.0	8.0	-4.0	-16.0	-12.0	-12.0	8.0	20.0
雇用人員	0.0	-5.8	-3.8	-3.8	-5.9	2.0	-3.8	1.9	-1.9	3.8	5.8	5.8	0.0	-5.8
業界の景況	-28.8	-23.1	-25.0	-21.2	-21.6	-15.7	-7.7	-9.6	-7.7	-19.2	-7.7	-3.8	-5.8	-2.0

図表3～【指標別DI値の推移】

図表4～【前月DI値差】

	売上	在庫	価格	条件	収益	資金	設備	雇用	景況
食料品製造	0.0	-25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0
繊維・同製品	75.0	50.0	0.0	-25.0	25.0	25.0	25.0	-25.0	25.0
木材・木製品	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0	0.0	50.0	-25.0	0.0
印刷	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
窯業・土石	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0	0.0	0.0
鉄鋼・金属	25.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0	0.0	0.0
一般機器	25.0	25.0	0.0	0.0	-25.0	0.0	0.0	0.0	0.0
製造業	20.0	12.0	0.0	-4.0	4.0	4.0	20.0	-8.0	8.0
卸売業	66.7	33.3	0.0	0.0	33.3	0.0		0.0	0.0
小売業	-14.3	28.6	0.0	0.0	0.0	-14.3		-14.3	-14.3
サービス業	-50.0		0.0	-16.7	-16.7	-16.7		0.0	-33.3
建設業	0.0		0.0	0.0	0.0	0.0		-20.0	0.0
運輸業	0.0		0.0	0.0	0.0	0.0		0.0	0.0
その他	0.0		0.0	0.0	0.0	0.0		50.0	0.0
非製造業	-7.4	30.0	0.0	-3.7	0.0	-7.4		-3.7	-11.1
全体	5.8	17.1	0.0	-3.8	1.9	-1.9	20.0	-5.8	-2.0

特記事項

情報連絡員報告（平成29年10月分）

所属組合	特記事項
和洋菓子製造業	全体的には上昇傾向にあるが、原材料の値上等、収益を良くするまででない。また、一部観光客の増加があり、その地域での需要は良い。
味そ製造業	29年産原料米が天候の影響で不作となり、昨年実績の1割強が減り、また、価格も高騰しており、これからの生産、収益に支障が出ると思われる。
酒類製造業	今年の県内の一般米(コシヒカリなどの食用米)の作況が93%程度で不作だとの報道があったが、酒米についても収量が少ないJAも見られ今後の配分に不安が残る。そのような中、第88回関東信越国税局酒類鑑評会表彰式において、外池酒造店の「燦爛」が吟醸酒部門で最優秀賞を受賞するほか、県内酒蔵の多くが良い成績を収められたのは今後の広報活動にとっても良い情報であった。今後が期待される。
外衣・シャツ製造業	景況感はもとより、11月改正の新入管法で業界の7割が廃業ないしは実習生受入不可になるのではないかと不安大である。一方で、大手上場企業の7割が増益との報道があり、また一方では我が国は起業小国とのこと。大手も中小零細も同じ法律で規制されており、起業するには大変な時代となっている。少子化と相まって、ロマンの持てない国の方向性が心配である。
網・網・レース・繊維粗製品製造業	本格的なシーズンに入り、受注状況も多少ではあるが動きが出てきた。今月末には組合としても都内展示会に出展予定である。今年のトレンドを上手く掴み、取引先への提案ができるよう活動していく予定。
一般製材業	10月も9月同様に非常に加工物件が少ない状況になってしまった。組合員の情報からもなかなか良い話は聞かえない。しばらくはこのような状況が続くそうである。
木材・木製品製造業	繁忙期を迎え、工場はフル稼働している。しかし、人材は不足しているため生産は厳しいようだ。為替の影響もあり、材料の高騰により、忙しいが利益の上がらない状況が続いている。
印刷業	ニーズの変化、需要の停滞、過当競争、低価格など厳しい経営環境に変わりはない。「平成28年度経済センサス-活動調査」によると印刷会社は製造業24分類において6番目に事業所数の多い産業に位置付けられている。4人以上の従業員に限定した部分的な調査のため、3人以下の事業所を含むともっと多くなると思われるが、業界としては収益が縮小している。
砕石製造業	平成29年度上期(4月～9月)の出荷量は7,871,162トンであり、昨年同期比で6.7%増加している。特に生コン用砕石の出荷が堅調である。
石灰製造業	オリンピック関連の工事が遅れているため石灰関係の動きが依然として鈍い状況である。
金属製品製造業	<ul style="list-style-type: none"> 自動車部品関連…日産自動車関連は無資格検査問題で、日産工場の生産停止から下請け企業は減産体制を余儀なくされている。スバル関連はこれからか。 機械設備関連…建設機械関連は大型関係は回復。中小小型についても従来に比し上向いている。 プレス金型関連…自動車部品関連は、普通車、軽自動車とも順調。
一般機械器具製造業	相変わらず建材関連の仕事量は増えているようだが、自動車関連が今一つ盛り上がり欠けている。そのため、組合員の間でも景況感が割れている。
一般機械器具製造業	本月の報告は、前年同月と比較し、全般的にやや売上高等の増加という報告を受けている。売上高のやや増加、在庫量のやや増加が一部企業にみられるものの、仕入単価上昇等を伴い楽観視はできない状況である。

各種商品卸売業	<p>・平成 29 年度上半期（4 月～9 月）が終了したところで団地内企業の業績を聞いたところ、5 社中 4 社の企業が前年度同期に比べ売上高が増えたとし、残り 1 社が概ね前年並みとの回答であったことから、景気は緩やかに回復しつつあることが窺える。</p> <p>・紙関連の業種…仕入価格上昇やペーパーレス化等の影響による需要低迷の中、突然の衆議院解散 10 月総選挙によって選挙関連の紙注文が殺到したことで一息つくことができた。</p>
食肉小売業	売上金額は前月と同じであるが、仕入が幾分下がっているため収益が上がった。
中古自動車小売業	新車販売は昨年を上回っているが、中古車の販売は横ばい。新車の代替期間が延びており、商品価値のある中古車は依然として不足がちである。全国展開をしている販売店も県内に進出してきており、競争が激化している。販売店での景況感格差がある。
各種商品小売業	週末の天候不順により人出も少なく、売上げには大きな影響を伴った 1 か月であった。
各種商品小売業	例年 10 月末に開催していた半年に一度のセール「特招会」が本年度より 11 月開催に変更になった為、前年対比は大幅なマイナスとなった。その分の売上を差し引いても前年比 97%～98%程度と試算される。要因として考えられるのは、近隣のショッピングモールがリニューアルオープンしたことが挙げられる。流動客よりも顧客にフォーカスした営業を心がけたい。
花・植木小売業	高冷地から暖地への産地の切り替え時期だが、台風などの影響もあり暖地物の出回りが十分ではなく、全体的には入荷量は少なめでの推移となった。また、小売りの荷動きも鈍かったため、入荷減の単価安という市場推移となった。これから暖地物の入荷が増えてくるにつれて、市況も落ち着いてくると思われるが、販売面では天候の不順などから予想がしにくい状況になっている。
理容業	後継者不足による組合脱退者が依然続き、深刻な問題となっている。
自動車整備業	売上単価の減少が目立っている。細かなサービス、声掛けにより付帯売上げに努める。
ビルメンテナンス業	引き続き倉庫内作業請負の受注が増えており、収益も向上している。清掃や廃棄物収集運搬の受注は減少傾向にある。
給食センター	新規の得意先等の弁当食数増があった為、売上高は前年同月比で増加となった。新調理法で製造のシニア向け弁当の拡販等、コストダウンにより収益は改善されていくと思われる。
旅館・ホテル	10 月の業況は、週末相次ぐ台風(21 号・22 号)の影響でキャンセルが多発し、前年比を 1 割～2 割減少した。また、ほとんどの宿が前年比を下回った。
旅館・ホテル	宿泊の客室稼働率に関してはここ数年のトレンドのまま全体的に上昇している。レストラン・宴会・婚礼など飲食に関する部門では多様化しており、ホテル利用が全てではなくなっている。10 月は会合は少ないが、宇都宮市は宿泊、イベント（ジャパンカップ、MotoGP、その他）のトップシーズンでもあり飲食店利用は比較的多かったように感じる。

<p>内装工事業</p>	<p>栃木県室内装飾事業協同組合の防災ラベル支給枚数からみると、前年同月比カーテン用ラベルは904%増、敷物用ラベルは684%増、壁装用ラベルは55%増であった。4月～10月累計では、前年同月比カーテン用ラベル55%増、敷物用ラベル79%増、壁装用ラベル38%増であった。10月の支給金額は163%増。4月～10月累計支給金額は63%増であった。防災ラベルは既製カーテン、総合病院、マンション、敷物用ラベルは家具店、壁装用ラベルはマンション、老人ホーム等の工事が多かった。</p>
<p>一般貨物自動車運送業</p>	<p>ドライバー不足、労働時間遵守など経営環境が厳しくなるなか、高速道路6会社による車両制限令違反罰則強化が実施されている。割引停止など利用者と協同組合との連帯責任となることから対応見直しが急務である。</p>
<p>貨物軽自動車運送業</p>	<p>当月度も引き続き建築資材や鉄鋼関連、冬用タイヤ(スタッドレス)等の貨物が堅調に推移した。なお、イチゴなどの配送業務が11月初旬から5月末までの半年間続く予定である。ドライバー不足などにより、大きな機会損失となっている。</p>
<p>一般乗用旅客自動車運送業</p>	<p>売上等は、ほぼ横ばい状態で推移しているが、朝の予約等には対応しきれていない。特に法人タクシーでの乗務員不足の影響と思われる。</p>
<p>大谷石採石業</p>	<p>貼石関係は、前年同月比較で同じレベルで推移した。採石雇用も2名増え、若者への継承を進めている。積石も同様に同じレベルで推移した。</p>